

ジャパンプラブ

NEWS LETTER

Japan Club : 1759 Sutter Street

San Francisco, CA 94115

www.jpclub.org • jc-sf@sbcglobal.net

お知らせ

秋のBBQピクニック!

日: 9月9日(日) 午前11:00開始
 場所: San Mateo, Coyote Point Park, Eucalyptus #2 area
 会費: \$30.00 (会員一人につき) \$35.00 (非会員一人につき)
 12歳以下無料

締め切り間近! 8月27日です。

食事: 食事は総て会で用意します、身軽にご参加下さい。もちろんご自慢料理があればぜひお持ち下さい大歓迎です。バーベキュー(肉、野菜、トウモロコシ等)果物、飲物(ワイン、ビール、水、お茶、ソフトドリンク)を用意してお待ちしています。皆さんが参加できるゲームも考えています。

その他: 入園料は車一台につき\$6.00です。出来るだけカープ

ルをお薦めします。ご希望の方、又提供できる方はお知らせください。まだお申込みでない方はお早めにお申込み下さい。

行き方:

サンフランシスコ方面から: US-101 SouthのE. Poplar Ave. を出てそのまま直進、最初の信号のある交差点をN. Humboldt St.に右折、次の信号のあるPeninsula Ave. を右折、そのまま直進、フリーウェイ101を越えて直進するとパークの入り口です。

サンノゼ方面から: US-101 NorthのSan Mateo, 3rd Ave. から二つ目、Peninsula Ave.の出口を出てすぐの信号を右折、50メートルほど先の 次の信号を左折右側にゴルフコースがあります。まっすぐ行くとパークの入り口につきます。

2018年7月度理事会報告

期日: 2018年7月7日(土)午後4時

場所: サンマテオ櫛木マーケット2階

出席理事6名: 大隅、柏原、櫛木、宇田川、唐崎、齋藤

欠席3名: 上野、古田、北

1. Old/New Business

a) 7/1/2017 - 6/30/2018 年度会計報告(宇田川理事)

- 黒字バランス

- メンバーへの還元方法を提案

1) 会の主旨から緊急時に役に立つグッズ(懐中電灯、ソーラー充電器他) 2) バス旅行、3) イベント等。次回の理事会で検討と議題にする。

b) Union Bank小切手署名登録完了 報告(摺木理事)

6月12日 ユニオン銀行サンマテオ支店で 摺木、柏原、宇田川、齋藤の4名が銀行での必要な手続きを済ませた。小切手署名登録に摺木会計理事が追加。

c) Union Bank Web AdministratorとUserの承認

Web Administrator登録(宇田川理事、摺木理事) Full Access & Authority. 7/5/2018現在、宇田川、柏原、摺木、齋藤登録済み。Web Userには上記4名のほかに必要なしと決定。随時理事会で会計報告をする。

d) Japan ClubのWebsite Home Page これからどうするか?

宇田川理事が浦田氏と維持又は新設の方向で話し合い、今あるHome Page内のデータ、写真、資料を Facebookか 新しいサイトに移行できるか検討をし、将来のためにも何らかの形でWebsiteを持つことで一致。次回理事会で宇田川理事が結果を報告する。

e) BBQ用品

BBQ用品在庫をまとめ齋藤が9月理事会まで預かる。新年会用品の粕汁用アルミ鍋がひとつ行方不明。またその蓋も2つ行方不明。BBQに必要な品購入・補充品の確認。各理事の私物提供の依頼。

g) BBQメニュー

例年とほぼ一緒 追加として サンマ、エリンギ、Pearl Onion

h) バス旅行

来年に持ち越し 齋藤 柿狩り、栗拾いを今年下見に出かけて来る。下見の報告は 年末か1月の理事会で。

i) 宇山新総領事表敬訪問報告

大隅副会長“とても気さくでいい方、山口県出身で 一橋大学卒米国ペンシルバニア州Swarthmore College.1986年外務省入省、1998年国連ジュネーブ、2000年 エジプト、2008年フィリピン、2010年韓国、2012年 ジュネーブ、そして本年一月に当地サンフランシスコ 総領事に着任、海外経験豊かな外交官である”(大隅)

j) コロマ日本人共同墓地慰霊祭

来年からのお掃除、お香典・花代、及びジャパンプラブのInvolvementについて次回理事会の議題にする。

k) 同好会活動

川柳 第2回川柳の会サロン報告 5月12日 大隅邸 11時より。8名の参加 “和気あいあいと楽しい会でした。”

l) 秋・冬・春の行事予定?

古田理事 講演会について “折衝を始めましたがまだハッキリしませんのでご(emailで事前報告) 報告できません、会場予約のこともありますから メドがつかましたらできるだけ早くご報告します。”

第3回 川柳の会サロン 次回第3回は、北夫人がご自宅を提供してくださいと齋藤理事より報告。日程は北さん、シュミットさんのご都合と話し合いの上決めていく。

2. 9月理事会 開催日確認

9月1日(土) 4時より。8月下旬には臨時理事会は必要なし。BBQ申し込み締め切りが27日ゆえ9月1日でよいと決定。

川柳コーナー (選評: シュミット・まりこ先生)

お題「広い」七月十九日メ切の作品集です。

佳作

広いのどっち? 猫の額か 我がアパートか? (唐崎建二)
 広いのは 海と空だけ 心欲し (クリステイ・恭子)
 広い川 その昔には 雲助も (上野正安)
 嫌いな の 広いお池と 狭グリーン (唐崎建二)
 嫉妬心 これって心が 狭すぎる? (齋藤篤子)
 太平洋 日本帰るの 大変よう (唐崎建二)
 政治家は 広い世間を 狭くする (クリステイ・恭子)
 足やばい! サッカーピッチ広すぎ 走れない(ジャスティン)
 失恋で 広い浜辺を 一人ゆく (大隅敏男)
 広い家 買える時には 誰も居ず (上野正安)
 願わくは 広い心を 誰にでも (上野正安)
 黄昏の 広い夜空に 星一つ (大隅敏男)
 顔広く 人当たり良く いさぎよく (大隅敏男)
 アメリカを 大陸横断 広すぎる (青柳伸之)

秀吟

断捨離で 必ず我が家 広くなる? (齋藤篤子)
 初孫の ひろいオデコは パパゆずり (ハルボルソン律子)
 銭湯ずき 広い湯船に 足のばす (ハルボルソン律子)
 尋ね人 広い心と 深い愛 (唐崎建二)
 広い土地 直ぐゴルフ場にと その昔 (上野正安)
 夏休み 広く感じる 僕の部屋 (ジャスティン)
 案山子さん 広い畑で パトロール (ハルボルソン律子)
 子が不在 広い食卓 ふたりきり (齋藤篤子)
 夏の日の 雲一つなき 広い空 (上野正安)
 広い家 窓拭きだけでも 疲れ果て (大隅敏男)

客位

幅広い 人付き合いで 利を悟る (大隅敏男)
 狭くても 我が家は広し 和みあり (クリステイ・恭子)
 あるのかな? 広い宇宙に 住める星 (青柳伸之)

人位

広いのに 何でボールそっち? OBショット (青柳伸之)

地位

狭い家 一人いなくても 広くない (齋藤篤子)

天位

広い国 へいで囲むの 無理でしょう (クリステイ・恭子)

軸吟

視野広げ 丸く治めて 笑みもでる (シュミットまり子)

雑詠の部

七夕の 夜空に閃く 大花火 (大隅敏男)
 短冊に 願いをこめて 笹につけ (大隅敏男)
 天の川 渡る喜び 年一度 (大隅敏男)
 霧の為 逢引き拝めぬ 七夕夜 (大隅敏男)
 半端ない! 大和魂 サムライ日本 (ジャスティン)
 特選
 大掃除 日本サポーター ニュースになる (齋藤篤子)
 (評) この様なニュースを見聞きされて、作者は日本人としての誇りを覚えられた事でしょう。祖先から受け継がれるDNA、日本人の美德。其れが自然と行動に表れるのでしよう、そこには和が芽生え辺りの空気を幸せにします、有難いですね。

軸吟

未完成の 夢があるから ファイト湧く (シュミットまり子)
 次回のお題は「暑さ」です。BQ当日(9月9日)が締め切りになります。BQ不参加の方は alohafonako@gmail.com まで Email 受け付けます。または Fax (650) 991-9447 郵送の場合に9月7日必着。
 Atsuko Saito 宛
 236 Westbrook Ave., Daly City, CA 94015

ジャパンクラブの秋の無料講演会のお知らせ!

今回はサンノゼのボランティア・グループ「六郎オーグ」にご協力いただき、10月6日(土曜)午後1時~4時、サンフランシスコ・ジャパンセンター内 ユニオンバンク社交室に於いて、二人の専門医を講師に招き日本語で講演して頂きます。漠然と知ってはいても普段から気にかかっていること、詳しくは知らないこと、新しい知識などなど。。。お役に立つ情報満載です。さらにQ&Aの時間内に日頃疑問に思っていることや知りたいことを専門医の先生に聞く質問タイムがあります。今回は参加人数に制限があります、早めにお申し込みください。申し込み締め切りは9月10日です。(同封の申し込み用紙で先着順です。)

尚、今回はそれぞれの講師を始め、皆さんがボランティアとして協力して下さいます、講演の録画、写真、録音は全て禁止、またプレゼンテーションの書類は用意されません。この禁止事項をご理解ください。

演題1 知ろう、防ごう、脳卒中!

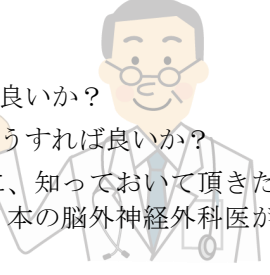
日本の脳神経外科専門医、指導医による講演。脳は置きかえることのできない唯一無二の臓器で、人間が人間らしく生きられるのは脳の働きによるものである。この大切な脳に深刻なダメージを与えてしまう脳卒中は日本人の死因の第4位、要介護となる原因の第1位を占めている。

- 1) 脳卒中はなぜ起こるのか?
 - 2) 脳卒中にならないためにどうすれば良いか?
 - 3) もしも脳卒中になってしまったらどうすれば良いか?
- 自分や大切な人を脳卒中から守るために、知っておいて頂きたい基本的な知識から最新の話までを日本の脳外神経外科医が分かりやすく解説。

演題2 日本とアメリカのリハビリテーションの違い

日本で18年のリハビリ専門医の経験を持ちアメリカで28年間経験のあるリハビリ専門医のプレゼンテーション。日本とア

リカのリハビリテーションの違いを歴史と制度の違いやリハビリの仕方に差があることをわかりやすく説明します。両国とも細分化したリハビリ医が多いので、患者は病気にあったリハビリ医のを見つけ方が大切です。その方法やアメリカで介護される方が受けるリハビリの説明及び介護者に役に立つ情報を提供します。



コルマ日本人共同墓地慰霊祭出席報告

(齋藤篤子/事務局)

メモリアル・デーの5月28日に、コルマ日本人共同墓地慰霊祭があり この度、ジャパクラブを代表して参列をさせていただきました。日系コミュニティから100名ほどの方がいらしていました。ふだんは、霧で寒いDaly Cityもこの日は、美しい青空の下とても気持ちのよい日でした。墓地はきれいに清掃され、無縁塚、咸臨丸の乗組員3名のお墓、そして、日系人社会に多大な貢献をされた方々が 手厚く葬られ、現代に引き継がれているのに胸が熱くなりました。

コルマ墓地の歴史は サンフランシスコで最初に亡くなった日本人、1860年に咸臨丸で太平洋を渡り訪れた遺米使節 新見豊前守の一行の、塩飽佐柳島の水夫 富蔵、塩飽広島の水夫 源之助、長崎の火夫 峯吉の3名でサンフランシスコのローレル・ハイツ (Laurel Heights) に葬られたそうです。その後、マソニック (Masonic) 公設墓地も造られ、日本から移住者で亡くなった方たちは、これらの墓地に埋葬され、日本人墓地が散在してしまいました。そこで、日本人墓地を一箇所に集めるために、メソジスト監督教会の宣教師のオーティス・ギブソン師にお願いして、中国人墓地の一部を区画して日本人墓地とすることになったのです。そこは、サンフランシスコ市内で湾を見下ろせる日本人墓地を建設し、市から許可も下りたのですが、1879年に病没した日本人娼婦の埋葬をギブソン師に拒絶されたことから別に日本人墓地が必要になりました、しかし、今度はサンフランシスコ市内に墓地建設全般を禁止したため、市外に移転を余儀なくされ、1902年、最終的に現在のコルマに落ち着きました、以来サンフランシスコの日本人永眠の地として今日に至っているわけです。

咸臨丸の峯吉のお墓は、初代サンフランシスコ駐在日本国領事のチャールス・ウォルコット・ブルックス (Charles Wolcott Brooks) という貿易商によって建てられたそうで、ブルックス氏は、異国の小さな国 日本に強い親愛の情を持ち、サンフランシスコの日系人社会の協力的な支援者だったそうです。墓碑に英語で“MI-NAY-KIE-TCHEE” (みねきち) と刻まれていて、まだローマ字表記法の確立していなかった当時がかがえます。咸臨丸艦長勝海舟によって建てられたとされるのが、水夫の源之助と富蔵のお墓には“TOME-TZO”と“GIN-NO-SKI”と刻まれ、英語とともに漢字も刻まれています。

コルマ日本人共同墓地には、日本・日系移民史に名を連ねる多くの人々のお墓があります。

・安孫子久太郎さん 新潟県の出身。新聞発行人、銀行家、一世農業「大和」コロニー創始者 1882年に渡米。カリフォルニア州に日系人専門の人材派遣会社「日本人勸業社 (のちの日米勸業社)」を設立、サンフランシスコを基盤に鉄道会社、鉱山、農場などに幅広く労働者を提供したそうです。アメリカで最も尊敬を集めた一世指導者として知られています。

・牛島謹爾 (うしじま きんじ) さん、ポテト王でカリフォルニアではジョージ・シマの名前で知られています。1888年に福岡県から渡米。ストックトンの荒地を開拓して、ジャガイモの生産に成功。カリフォルニア州の50%以上の生産を6万エーカーを超す大農園で経営していました。1908年には、初代日本人会の会長として排日運動の緩和につとめるなど 大きな功績を残してくれました。

・国府田敬三郎さんは、アメリカに日本のお米を根付かせた

人。1907年に福島県から渡米。実家のお米作りをここカリフォルニアではじめたそうです。第二次大戦中には日系人収容所に入れられ、戦後になって「国宝ローズ」という品種の開発に成功しました。

・萩原眞さんは、山梨県出身、1879年に渡米。1888年にサンフランシスコ・チャイナタウンの一角に「大和」レストランを開業して、1894年にゴールドゲート・パークの中にある日本庭園を設計して、フォーチュン・クッキーを考案されたといわれています。

・浅野七之助さんは 岩手県出身で1917年に渡米。1946年にサンフランシスコの邦字紙「日米時事」を発刊、また、1946年第二次世界大戦後のアメリカから日本に対して行われた難民救済事業の“ララ物資の父”とも呼ばれています。

今日、私たち日本人が大きな差別も受けずアメリカで生活できるのは、ここに骨をうずめた先駆者たちの功績があるのだということを忘れてはいけません。ここコルマ日本人共同墓地に眠る方達はみな、アメリカに住む日本人・日系移民の生活の礎を築いた人々です。遠く祖国を離れて異国の地で汗を流し、大変な苦労を重ねた皆様の努力。長い排日の日々を、生き抜きました。今、このアメリカに生きる日系人だけではなく日本人も、すべて彼らの恩恵を得ているのだと強く思います。時を越えて、このコルマ日本人共同墓地に静かに眠る日本人・日系移民の歴史は、心に静かに厚く語りかけてくれます。ジャパクラブの会員のみならずにも ご家族、ご親戚、知人の方で永眠されている方もいらっしゃると思います。

この度、このコルマ日本人共同墓地に集まり、宗教、人種、政治を超え、今ある日本人・日系社会の礎を築き上げた先達者たちの功績を思い起こして、先人の生涯から学ぶべきことは何か、ということをお願いし巡らすチャンスをいただきました。毎年、メモリアルデーの慰霊祭の2週間前の週末に大勢のボランティアの方々が墓地のお掃除をされるということも、今回、慰霊祭に参列して初めて伺いました。ジャパクラブの会員の皆さま、お気持ちのあらわれる方、ぜひ来年からボランティアにご一緒いたしませんか？



関連本紹介 (齋藤篤子/事務局)

日本女性史を描いた本を多く出版している山崎朋子さんが書かれた本の中にこのコラム日本人共同墓地が出てくる「あめゆきさんの歌」という著書があります。

大正・昭和初期に日本の女性評論家、女性解放家として 平塚らいてう、与謝野昌子、岡本かの子などと一緒に活躍した“山田わか”という女性の数奇な生涯を書いた本です。山崎朋子さんがこの本を執筆する折りにサンフランシスコを訪れ、北米毎日新聞社の故清水巖社長や日米時事新聞の故浅野七之助会長の案内で大正・昭和に活躍した女性評論家の“山田わか”という人に新しい人生を歩ませるために、自分の命をかけたという立井信三郎のお墓があるという記述や1900年前後のサンフランシスコの日本人社会の事などが書かれてあった事を思い出しコラムがとても身近に感じました。その本を紹介させていただきます。



「あめゆきさんの歌」
著者 山崎朋子
出版社 (株)文藝春秋

明治の後半、日本の横浜からシアトルに騙されて連れてこられ、売春婦として生活していた頃、新世界新聞の記者の立井信三郎に助け出され、サンフランシスコへ、その後、立井信三郎は自殺、サンフランシスコでも生活のために“アラビ

アお八重”という源氏名でお客をとっていましたが サンフランシスコ・チャイナタウンにあった、キャメロン・ハウス(Cameron House)という娼婦の救出更生施設に逃げ込み更生していく中で、38歳の山田わかさんは、ブッシュ・ストリート (Bush Street) にあった山田嘉吉氏が開いていた山田英語塾に通い、あいうえおから勉強を始め、その後、先生の山田嘉吉氏と結婚、1906年のサンフランシスコ大震災の後、二人で日本に帰国、その折、山田わかさんは、自分の命をかけて救出してくれた立井信三郎氏のお墓をコラムの墓地に建てたといひます。



ようやくたずねあてた立井信三郎の墓の傍にたつ筆者(浅野七之助氏撮影)

この本の中にコラムの墓守の話として、「この墓の周りには薔薇の木が植わってましてね。誰も世話をしないのに春になると赤い薔薇の花がこぼれるほど咲いていたんです。どういうわけだか 昭和31年-32年頃に枯れてしまいました。本当に惜しいことでした。」その後山崎朋子さんが立井信三郎の故郷の奥津城を訪れそこにも山田わかさんが手植えた薔薇の木も彼女が没した頃に枯れてしまった。。。とご親族の方から聞かされ、著者の山崎朋子さんは 「靈魂というものの存在は信じていないけれどわかさんを愛し、それ故に命を断った立井信三郎の魂は山田わかさんが、手植えた一株の花木に宿って、サンフランシスコや故郷から遥か日本での彼女の社会的活躍を見守り続け山田わかさんの死によってその見守りを止めたのだと。。。」記しています。

国民年金の実質減額の是正を訴えよう！！

日本の年金を受給している方が、その後米国年金の受給申請手続きをすると米国年金が通常のケースより低い年金額に減額されてしまいます。その根拠はSSA(米国社会保障局)が規定するWEP(Windfall Elimination Provision) 棚ぼた排除条項)です。その内容は、給与からSocial Security Tax(社会保障税)が徴収されていない仕事(就労)にもとづいて将来年金を受け取る場合、その人が受けとる米国の老齢年金が減額されるというものです。

この規則が適用される背景には、米国年金が、相対的に低所得者を優遇している為、比較的短期間の米国年金加入者(例えば日本からの駐在員)は年金額計算上有利となっています。更に駐在員の場合、日本の年金も受け取ることから、低所得者とは言えず、いわゆる「棚ぼた」状態となるとの判断から、その状態を調整しようとする狙いがあるようです。

具体的にWEPの対象となる日本の年金は、厚生年金、共済年金といった公的年金だけです。適用の例外となるケースは(1)遺族年金受給者(2)米国年金加入期間中、30年以上の社会保障上の高額収入(substantial earning under Social Security)を得ていた方(3)米国年金の加入期間が10年(40クォーター)未満のため日米の年金加入期間を通算して米国年金を受け取る場合は、WEPの適用外で減額されません。以上から国民年金は個人で積み立てた年金であり就労(仕事)に基づいて得た年金ではないので対象外です。私的年金も対象外です。

にもかかわらず最近SSAでは国民年金に対して減額するという

WEPの誤適用が多く見られる為、今年の1月中旬に外務省・北米2課に対し国民年金への誤適用の現状と誤適用である根拠資料を渡して早期改善の為SSAとの協議を依頼いたしました。しかしながらその動きは非常に遅く危機感を感じています。

そんな時一人の支援者の方から“本件全米の年金受給者が声をあげて行く必要があると思います。そして日本大使館や領事館をもバックに訴えていく必要があるのではと思います”との提案を頂きました。そこで、私のHP(<http://nenkinichikawa.org>)に「緊急報告」の項目を追加し、NY総領事に対して誤適用の是正についてその取り組みの促進と解決を求める内容の投稿が簡単にできるように致しましたので是非ご活用下さい。

お知り合い等に配信頂き、ご賛同を頂ける場合はメールによるNY総領事への投稿の呼び掛けをお願い致します。現時点でも不当なWEPの扱いに悩まれ憤る方が多くいらっしゃいます。今改善しないと今後改善は難しいと思います。皆様の早目の投稿を期待いたします。

海外年金相談センター
市川俊治
<http://nenkinichikawa.org>
E-Mail shunjiichikawa@gmail.com
〒162-0067
東京都新宿区富久町15番1-2711号
TEL&FAX 03-3226-3240